

◎ ようこそ！ ふるさと倶楽部へ

新会員をご紹介します。(敬称略)

★

若い時から、「田舎暮らし」憧れ病の重度罹患者で、性懲りもなく青い鳥を求めて、世界と日本をフラフラさ迷い歩いてきた自分。タイのチェンマイや信州北アルプスの古民家などを渡り歩き、遂にタイムリミット到来と観念し、八ヶ岳南麓へ来たのが15年前。

西行を拝借、「願わくば、八つ南麓に我逝かん 富士甲斐駒に雪かかる頃」の心境です。どうぞよろしくお願いいたします。

★

セカンドライフは自然の中で暮らしたいという思いから、八ヶ岳周辺で物件を探していたところ、小淵沢で素敵な山荘に出会い、今年10月から横須賀市と北杜市の二拠点生活を始めました小林と申します。これからは、自然の中で趣味の登山を楽しんだり、四季折々の風景を眺めたり、さまざまな方と出会い交流を深めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

★

はじめまして。夫婦二人で北杜市大泉町に移住して早いもので14年経ちました。

夫・・・は自然豊かなこの地でサイクリング、妻・・・は合唱、ピアノ、チェロアンサンブルを楽しんでいます。この度、ご縁がありふるさと倶楽部に入会させて頂くことに

なり、とても嬉しく思います。夫婦二人、新たな出会いを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

★

2024年9月より横浜市から念願の白州町に大型犬2匹と一緒に(たまに娘二人)2拠点生活をスタートさせました。白州の自然と人々の優しさに魅せられ、即ここだ！と直感で決めました。こちらに来ると自然を愛し、時間に追われず自分軸で動き、本当に「生きている」ことを感じられます。土や木でDIY、畑を楽しみ、まだまだこちらの素晴らしさを知らない私達に皆さんとの交流を深めながらこの土地の魅力に親しんでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

★

新潟県より子供の住む北杜市に転居して6年がたちました。西も東も分からぬまま越して来ましたが、山々が美しいこと、谿川や滝の美しいこと、四季折々の自然に抱かれ、なんと素敵な北杜市かと感動の日々です。

この度八ヶ岳ふるさと倶楽部の会報を拝見し、ゆるやかなネットワークを謳う自然と文化を学び合うと又行事に参加させて頂きたいと思っています。よろしくお願いいたします。



他に11月末までに2世帯が入会されました。

◎ 知ってみたい 山梨

ふるさと倶楽部の会員は、ほとんど他県からの移住者です。このコーナーでは「へえー！」「そうなんだ！」とおもような特色ある山梨の自然や文化などを紹介していきます。

★富士川の舟運

甲斐国と呼ばれていた山梨県全域は江戸幕府の幕領でした。各所で収穫された米は江戸に集積するため富士川の舟運により送り出されていました。

日本の三大急流河川の一つである富士川は、釜無川や笛吹川が合流する処までは平地で緩やかな流れでしたが、鰍沢の下流から中流域までは急流が続き、「天神ヶ滝」「屏風岩」「銚子の口」の区間は急流の難所でした。しかし、家康が河川工事の専門家であった角倉了以(すみのくらりょうい)に開削工事を開始させ、息子の与一が慶長19(1614)年に開通させました。

掘削重機など無かった時代に周辺の村人を動員し縄や竹籠を巧みに使い流れを替えました。大岩は火で加熱後、錐状の金属をつけた大型の杭を落とし粉碎して川幅を拡げ緩やかな流れに変えました。まさに人力のみでの掘削の様子が



水行直仕方絵図

富士川町の古文書「富士水碑」に残されています。当時の英知を結集した人力での普請は念の入った素晴らしい成果と言わざるを得ないでしょう。

川下りが安全にできるようになった後には鰍沢の河岸から高瀬舟(長さ13m、横幅1.8m、深さ0.8mと小さい。)が下りました。一艘で僅か30俵弱しか運べなかったものの、駿河国(静岡県)の河口岩瀬まで6~8時間で下ることが出来ました。年貢米は清水湊経由で東海道を上り江戸へ運ばれました。他には木材、炭、煙草が主な物資だったそうです。

一方、上りは川上げと言い4名一組が川伝いに人力で高瀬舟を上げるため4~5日かかっていたと言われています。河岸には今でも竿で凹んだ名残があります。江戸や清水湊経由で運ばれてきた川上げ品は瀬戸内塩を中心とした物資で明治時代には石油もあったそうです。

江戸時代から続く河川の流れを見るにつけ、古い時代から人間は河川とともに生き、英知を駆使し豊かな生活を営んで来たのだなあと思います。(・・・)

